

令和元年度 第1回西淀川区教育行政連絡会議事要旨（佃中学校ブロック）

日時：令和元年7月1日（月）15:00～16:30

場所：佃南小学校 校長室

出席者：（学校）佃中学校・佃小学校・佃西小学校・佃南小学校

（区役所）塩屋区長・横内学校教育支援担当課長・向井総務課担当係長

1 「小学校・中学校を支援する6本の柱」について

○区役所からの説明

区役所が行っている区内小中学校を支援する施策は、きらり☆にしよど4月号に掲載しました6本の柱です。それぞれの事業について、今年度実施しております事業の概要について説明

○意見交換要旨

・インクルーシブ教育応援サポーター事業について

佃小：教育委員会事務局の予算が減っている中、必要としている学校は多いと思う。当校においてもニーズは高い。

2 令和2年度「校長経営戦略予算（次長枠）」について

佃小：漢字検定については、これからも継続的な実施をお願いしたい。

佃中学校区では、平成28年度から市教委の調査事業として英検ジュニアを実施していたが、事業終了ということで今はやっていない。来年には小学校にも教科として英語が導入されるし、英検ジュニアは合否判定ではなく、コメントをくれるので学習の動機づけにもなった。過去に実施していた佃の地域では児童生徒も慣れているのではないかと。

佃西小：調査事業として、団体受験すれば、2800円の受験料が800円になるようだ。

佃中：当校に、高い級の英検受験をする生徒が多いのはこれまでの積み上げかもしれない。

ただ、英検受験に向けて授業を行う高いスキルが教員に必要となってくるので、学校の負担がある。これまで中学校で全員実施していない中学校への導入は例えば、費用の半分を区役所する方法などにして、小学校のように全額負担としなくてもいいかもしれない。

区：事業を検証し、予算要求できるか検討したい。